



沼津市文化財 センター通信

2023年12月発行



文化財通信
バックナンバー



沼津市公式Youtube Ch.
(沼津の歴史紹介)



首元をかざる“ふしぎ”な玉 ～沼津市出土の勾玉のあれこれ～



令和5年度の夏休み文化財イベントの中で、**勾玉**づくり体験を行いました。多くの方に参加してもらいましたが、なぜ**勾玉**というものは人を引き付ける魅力があるのでしょうか。今回は**勾玉**についてみていきます。

勾玉は約7,000年前に日本列島に出現し、約1,400年前までの5,000年間を超えて使われたネックレスで、全国で1万点以上出土しています。「**勾**」という字には「曲がる・カギ」という意味があり、実際に曲がった棒のような形をしています。**勾玉**の多くはお墓やお祭りの場所から出土しており、単なるネックレスではなく、まじないに関わる特殊な使い方をしていたと考えられます。

沼津市最古の**勾玉**は弥生時代（約2,000年前）のものです（写真下の6点）。黒く硬い**石**でできたものもあれば、**土**でできたものもあります。一方、写真上に円形に並べたものが古墳時代（約1,800～1,400年前）の**勾玉**で、こちらの素材は全て**石**です。珍しいものは写真右上の「**子持勾玉**」と呼ばれる**勾玉**で、大きな本体の**勾玉**に小さな**勾玉**（青い➡のところ）が付いています。複雑な形なので、作るためには**滑石**という加工しやすい石が選ばれました。

古墳時代の**勾玉**の中央に置いた小さな**勾玉**は、**高尾山古墳**という東日本最古級の古墳から出土したものです。この古墳に埋葬された人物は東日本において特に重要な人物であることは間違いないのですが、この**勾玉**は極端に小さく、2cmほどです。どうやら**勾玉**の大きさと人物の偉さは比例しないようです。



うえだしきたに
ガラス勾玉の型（植出北Ⅱ遺跡）

勾玉の大きさは人物の偉さと関係ないようですが、素材には明確に差があります。最上級の素材は**ガラス**で、全国でたった900点ほどしかありません。沼津市では1点しか**ガラス勾玉**は出土していませんが、一方で全国的にも珍しい**ガラス勾玉**を作るための型が出土しています（この型の詳細は文化財センター通信第6号参照）。

実はこの**ガラス勾玉の型**、弥生時代においては沼津が日本列島最東端の出土地で、関東以东にはありません。このことから沼津は**勾玉**研究において重要な場所となっています。



通信6号



土器接合体験



弓矢体験



土器・勾玉づくり体験



大盛況!



夏休み文化財イベント

8月5日(土)に文化財センターで、夏休み文化財イベントを開催しました。多くの子供たちが、土器・勾玉づくり体験や火起こし体験などの文化財センターならではのイベントを楽しみました。

火起こし体験



文化財センターでは、来年度も子供たちが文化財や歴史を身近に感じるイベントを行う予定です。

お楽しみに♪



展示室クイズ



中学生の職場体験



11月1日、2日に文化財センターで中学生が職場体験を行いました。発掘現場に行ったり、土器の接合体験をしたりと、多くの仕事を体験することができました。文化財や歴史学習に興味のある中学生は、来年参加してみてくださいね♪

案内図



文化財まちあるきマップ

文化財センターでは、沼津市内の文化財を紹介する地図を作っています。これまでに、金岡・浮島・原・戸田・内浦・西浦を作成しました。今年は、大平を作成しています。地図を片手に皆さんがお住まいの地域の文化財をめぐってみてはいかがでしょうか。

まちあるきマップはこちら ➡



沼津市文化財センター

展示室見学 平日9時00分から16時30分

(土・日曜日、祝日、年末年始はお休み)

見学無料

〒410-0106 静岡県沼津市志下530

TEL 055-935-5010 / FAX 055-933-1270

沼津市教育委員会文化振興課 文化財企画係・文化財調査係

E-mail cul-bunkazai@city.numazu.lg.jp

